

★ 日漢協講演会 開催 ★

2023年9月15日(金)、現在NHKで放映中の「らんまん」に登場する牧野富太郎博士ゆかりの高知県立牧野植物園で園長をお務めの川原信夫先生をお招きしご講演いただいた。当日は、ハイブリッド開催により、家電会館(文京区)に13名、Zoomで109名のご参加をいただいた。川原先生のご講演の演題および内容は以下の通りである。

【演題】

「植物を通じた社会貢献を目指して
～高知県立牧野植物園の紹介と今後の展望～」

【内容】

- 今まで川原先生が手掛けたご研究の紹介
国立医薬品食品衛生研究所生薬部(1999～2009年)および国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所(2009～2021年)の各研究機関における生薬や薬用作物の研究内容について振り返っておられた。
- 高知の特色や印象
高知県は山地が多く(山地率89%、全国1位)、日照時間が長い(全国1,2位)など、地形や気象の特徴に加え、「土佐いごっそう*」や「はちきん**」に象徴される県民性や飲酒費用が全国でもトップクラスに数えられるなどの地域性についてもユーモアを交えてお話された。



【講演される川原先生】

➤ 高知県立牧野植物園の紹介と取り組み

牧野富太郎博士にまつわるお話（博士の年譜や業績、博士命名由来の10生薬など）や牧野植物園の基本構想、ミッション、組織、研究内容および園内の写真を多数ご紹介いただいた。

また、本年5月にオープンした研究・教育関連施設である「植物研究交流センター」の概要について説明があった。

➤ 日漢協に期待すること

最後に、協会に期待することとして、産地化支援、国内産原料生薬の積極的活用、薬用植物に応用可能な農機具の改良・開発、生薬の未利用部位の活用などへの取り組みを挙げられた。

講演後、加藤会長から「本日、川原先生からお話いただいたように、牧野植物園は日々新たなる進化を遂げている。皆さんもぜひ足を運んでほしい。

今回、先生より国内生産の拡大や国内生薬の活用等、ご指導をいただいた。重く受けとめ取り組んでいきたい」と謝意の言葉があった。

また、終了後の参加者アンケートには、「牧野富太郎博士の取り組みがよくわかった」や「牧野植物園にぜひ行ってみたい」などの声が寄せられた。



【会場の様子】

※ 土佐いごっそう* : 「頑固で気骨のある男」などを意味する土佐弁
はちきん** : 「男勝りの女性」を指す土佐弁